



CLUB OFFICE  
京都YMCA 三条本館  
京都市中京区三条通柳馬場角  
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

# Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS  
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2019  
3

Bulletin  
2019.3.1発行  
第33巻第9号通巻399号

主  
題

国際会長 私たちは変えられる "Yes we can change"  
アジア会長 アクション "Action"  
西日本区理事 未来に残すべきものを守り育てる  
"Let's protect and cultivate what should be passed on to the Future"  
京都部部長 永遠の絆 "Will the circle be unbroken"

聖  
句

そこで、イエスは言われた。  
「神を信じなさい。はっきり言っておく。だれでもこの山に向かい、『立ち上がって、海に飛び込め』  
と言ひ、少しも疑わず、自分の言うとおりになると信じるならば、そのとおりになる。」  
コリントへの信徒への手紙 一 13章13節



## 「これから先に⇒」

西日本区理事 遠藤 通寛

- 1) 家族、家について 2) 奉仕活動について 3) 趣味について  
4) 仕事について

並べて見ると現在のウエートはどのようになっているのでしょうか？今は気持ちの中ではこのような形だと思います。時間配分は仕事が一番多いのですが、何とかしないと思っているのはこの順番だと思います。

これから先十年続くとして2)について考えて見ましょう。ワイズメンズクラブ、地域の奉仕活動、社会福祉法人等での活動などが現在あります。ワイズメンズクラブの活動では、目標を立てることにしました。年に1名を入会させる。十年間で10人ですから実現可能な数字だと思います。クラブのメンバーとも話し合っているのですが、阪和部に新しいクラブを1つ作る。阪和部の中の編成についても考えないといけない次期が近いように思えますのでそのお手伝いをする。地域奉仕活動を充実させる。友達を誘えるクラブ作りのお手伝いをさせていただきます。このようなことを目標にしています。

1)については一昨年より同居している私の両親、田舎の家等のことを考えなければなりません。多くの先輩の皆様が体験されたことが私の身の上にもやってきました。メネットに大変世話になり、また両親もメネットを頼っていますので、大変ありがたく思っております。介護、病院への入退院と毎日のように何かが起こっています。父親が誤嚥で肺炎を起こした際、嚥下しやすい料理を作ったりもしましたが、なかなか時間がなく手が回りませんね。お陰でカリウムや蛋白、塩分など料理を作る際に気にするようになり、自分たちも将来なるであろう、嚥下障害に対して食べ方を工夫したりして、すこし対策をいたしました。悪いことばかりでは決してありません。

目標⇒バリカンと理髪用のハサミ、櫛を購入しました。実験台は父親です。上手になった暁には、孫の散髪をしてほしいと頼まれておりますので頑張ります。

3)については上記の1)がありますのでなかなか旅行など長期の不在はできませんので旧街道を時間のあるときに繋ぎ繋ぎ歩いて見たいと思います。将来は？いつのことでしょうか。南アフリカ、南アメリカ、アイスランドなどを訪ねて見たいと思っています。本で南半球の正座を見ているのですが、自分の目で確認するのが夢ですね。

皆様、西日本区大会、アジア太平洋地域大会でお会いしましょう。

会長主題

出会う  
つなぎあわせる  
よくしてゆく

会長 宇高 史昭  
副会長 三村 良行  
澤田 哲平  
書記 飯尾 豊  
会計 田中 邦昭  
内外会長 宇高真知子

強調月間

EF・JWF

3月 例会案内

**6日(水) 通常例会**  
ピッコロ京都の神崎康利さんをお迎えして、お洒落についてお話いただきます。

**19日(火) 訪問例会**  
ウエルクラブの例会に参加します。開催場所が京都平安ホテルになりますので、間違えないようにね。

例会出席

2月第一	14名
2月第二	13名
在籍者数	16名
メーキャップ	0名
出席率	93.8%

BFポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	25,500円

ファンド

たんかん	12,000円
累計	406,062円

ニコニコ

2月第一例会	6,000円
2月第二例会	6,000円
累計	30,000円

2月第一例会はウェルとの合同でTOF例会、世界の飢餓に苦しむ人々のための献金をするということです。私自身しばらくぶりの例会でメンバーの皆様にお会いできて非常に嬉しく思った例会でした。

ゲストにNPO法人子どもセンターののさん理事長の安保千秋様にお越し頂きCSアワー“ののさんを応援するために私たちができること”と題しての例会でした。

安保理事長には子どもシェルターや児童相談所の現状や児童虐待の実態等をお話し頂き、榎木CS委員長の進行で参加メンバーからは活発な意見が出ました。

- 1) 運営に対する金銭的支援としてチャリティゴルフをクラブ事業とすることや支援金を予算化してはどうか等
- 2) 職員やボランティアさんへの支援については花見やボウリングなどを企画しご招待してはどうか等
- 3) 活動の広報としてはののさんが講演や研修会を実施する場合、運営等を支援する等

私たちができることは僅かでもまだまだ微力ではありますが、今後支援の輪を広げていきたいと思えます。

この例会の2週間前、千葉県で親の虐待で小学4年の子の命が絶たれる悲惨な事件がおこりました。この子の名前には「愛」という字が使われています。ご両親の「愛」一身に受けすくすくと育てられ…のような未来が待っていたかと思うとあまりにも悲しすぎます。昨今いじめや虐待といった事件は毎日のように報道されています。悲しかったり腹立たしかったりやるせなかったり、いろんな感情が湧いてきます。でもこれが今の日本の現状…

わたしにとって今日の例会はこの途轍もなく大きくて深い問題について考えさせられる例会となりました。



## 「ドライバー委員会とともに」

ドライバー委員長 廣井 武司

クラブの委員会の中で、1年を最も短く感じるのは、広報ブリテン委員会とドライバー委員会でしょう。毎月のブリテン発行に追われるブリテン委員会のご苦勞は、前期委員長として経験させていただきました。アナログ人間の代表のような私に多くのメンバーがパソコンの使い方などを手取り足取り教えてくれました。その1年間、私がパソコンに向かう時間は、以前の10倍以上になりました。ブリテンを離れて半年以上、今は以前の自分に戻りつつあるように感じます。

今期は会長よりドライバーを命ぜられ楽しくクラブライフをエンジョイしていますが、この委員会も1年が過ぎるのが早く感じるお仕事です。メンバーの貴重な例会の時間をいかに充実したものにするか事前準備、事中专心、事後反省の毎日です。

例会を見ればそのクラブの今がわかるといわれます。出席第一、時間厳守、例会の運営上大切にすることですが、委員の役割分担があいまいだと、思わぬ落とし穴に落ちることがあります。わたしたちの親クラブであるパレスクラブに大切に守られている言葉があります。

「心を求めて例会にいたり、境地を得て例会を去る」です。その例会を運営するドライバーの役割は、これで満足はありません。ゲスト、ビジターを迎えるときの事前準備には会計、書記の方々との打ち合わせもおろそかにはできません。

以前にクラブのメンバーと他部の他クラブを訪問したことがありました。その時の記憶がよみがえってきました。事前に連絡もしてあったので、少し早く到着しましたが例会場には誰もおられず、例会開始の寸前にバタバタと来られました。当然受付もありません。登録費もどなたにお支払いするのかかわからず驚いたことがありました。

私たちクラブではみんなが助け合って運営できていますが、今一度「こんなもんでええや」でなく、きちっとやるべきことはやることを守りたいものです。

会長から頂いたこの職責が、無事果たせますように委員会のメンバーの一致協力をお願いいたしますとともに、例会が会員の親睦をより一層深め、奉仕のエネルギー蓄積の場になりますよう祈ります。あと5分早く例会場につどいませんか。

2月第二例会は、佛教大学保健医療技術学部 看護学科 老年看護学領域 准教授 濱吉美穂先生お招きして、「人生の有終の美を飾るために今からできる終活・心構え～事前指示書を書いてみよう～」をテーマにお話をうかがい、そのあと、事前指示書を実際書いてみました。今回のテーマに興味を持っていただいたメネット、洛中クラブメンバーや今西ワイズのゲスト、京都市立病院の看護師・助産師の参加もあり、賑やかな会となりました。

先生のお話は昨年2月に続き2回目ですので、そやそや、と聞いているメンバーや、前回先生にいただいたノートをきちんと持ってきたメンバーもいました。

以下、先生のお話で最後に言われていたことです。

事前指示書を書くことは、「自分という人間はどういうことを大切に考えているのか」を内省し、「自分の希望を考えるプロセス」が重要。家族や大切な友人らと、元気なうちから、事前に自分の生き方・逝き方について話し合う機会をもつ。「死」を病気としてではなく、自分の「生」の一部として考え、周囲の人、大切な人と語り合う文化を創り出すことが重要。

この「生き方・逝き方」について考え、話し合うプロセスが大事なのですね。「生」の一部として「死」を考えることは、「死」を忌み嫌う日本の文化では難しいかもしれませんが、ワイズメンは少しだけ前をいきたいと思えます。

ノートはまず、自分の幼いころはどんな子どもだったのか、自分の性格や好きなこと、大事にしていることから始まり、最後のほうに、自分が助からないかもしれないときに受けた医療について書くようになっています。今回工夫したのは、はい・いいえではなく、「そう思う」から「そう思わない」まで5段階にして答えやすいようにしたとのお話でした。

自分の意思決定支援能力がなくなった時の代理意思決定者は、必ず相手の了解を取っておくようにとのこと。代理で決定するのも、実際の医療現場では気の重い話で、特に家族で意見が食い違う場合はなかなかたいへんです。例会にご出席いただき、日々そういう場面に直面している看護師さん・助産師さんに感想を聞きました。

○貴重な会にお誘いいただきありがとうございました。濱吉先生のお話と、メンバーの方々の反応をみますと、医療（急性期病院）の現状と、市民の受け止めにはまだまだギャップがあると感じました。ACPに関しては、救急医療に携わっているものと、緩和ケアやがん治療に関わっているものとは、同じ医療従事者でも受け止め方は様々です。救急の現場では、

日常的に人の死に直面しますし、自身の死について考える機会も多いと思えます。しかし、一般の方の中にはあまり「死」が身近ではないと、今回参加して実感しました。そのような中で、一般の方も自分の死に向き合っていくことが必要な時代になってきており、濱吉先生が取り組んでおられるように、市民の事前指示書についての理解が進むと、医療を提供する側と受ける側が同じ方向を向いて、一人一人の「人生の有終の美を飾る」ことができると思えます。西洋では、「メント・モリ」という言葉があるそうですが、まさに常に死を意識して生きていくことが必要であると思えます。

○「わたしのいきかた手帳」を書く前に、「このあとどうしちやおうノート」のようなわかりやすい本を使ったり、病院では入院から退院の流れの中で、延命治療の状況、社会復帰が難しく在宅治療となった場合などについて、どのような選択をするか、考える機会があればいいのではと思いました。

○病院では、患者さんがどう生きたいと考えているか、この患者さんにとってのQOLはどう過ごすことかを考えてケアをすることが、患者に寄り添う看護と考えています。最近では、患者さんのことばかりではなく、自分もだんだんと年を重ねていく中で、誰とどんなふうに最期を過ごしていきたいか、人口呼吸器をつけるような状態になったらどうしたいか考えるようになりました。今回聴講させていただいて、回復する可能性が低いなら、何もしないでほしいと自分の中では決めていても、家族に伝えていなかったなあと反省しました。

先生のお話にもありましたように、気持ちは変わるものです。1回書いたら終わりではなく、考え見直すことが大事だと思います。これからも先生のお話は年1回くらい聞きながら、考える機会をもてればと思っています。



1. 第14回京都YMCAインターナショナル・チャリティーラン2019 inかもがわ 参加・協賛申込受付

3月4日（月）よりチャリティーランの参加・協賛・ボランティア申込受付を開始します。ご協力よろしくお願いします。

参加申込みは、リーフレットの専用振替払込用紙に必要事項をご記入の上、郵便局にてお振込みいただくか、大会HP (<http://kyotoymca.or.jp/c-run>) のメールフォームよりお申込みください。協賛お申込みは、リーフレット同封の協賛申込書にご記入の上、事務局宛にFAXをお送りください (FAX番号：075-251-0970)

2. 第6回The Y cup京都ミニバスケットボール大会  
今年で6回目になるThe Y cup京都ミニバスケットボール大会を下記の日程で開催します。ぜひ応援にお越しください。

日時 3月16日(土) 17日(日) 8:30 ~ 17:00まで

会場 京都市横大路運動公園体育館

## 2月度 役員会報告

### 報告事項

- 次期会長に小野敏明ワイズを推薦し、次回例会の前に臨時総会を開催
- 次々期京都部部长にウエルクラブ中村隆司ワイズが、承認されました。
- 京都部CSボーリングで、我がクラブが団体戦で準優勝しました。

### 承認された事項

- 4月第二例会ファミリー例会登録料  
メン:1000円 メネット・コメット(大)・ゲスト:4000円 コメット(小):2000円

## 3月 スケジュール

- 6日(水) 第一例会  
19:00 グランドプリンスホテル
- 10日(日) YMCA卒業リーダー祝会  
15:00 京都YMCA
- 19日(火) 第二例会 ウエル訪問例会  
19:00 京都平安ホテル
- 20日(水) 三役会  
19:30 京都YMCA
- 23日(土) サンライズ30周年記念例会  
12:00 ブラッスリー東洋/日本橋
- 27日(水) 役員会  
19:30 京都YMCA

## 3月



9日 西村 博  
16日 三村 良行

### 編集後記

今年もワイズメンズクラブ恒例のCSチャリティーボーリング大会が、しょうざんボールで総勢200人余りの京都の在京クラブと各クラブがサポートしているチームが参加して賑々しく行われました。我がプリンスクラブも、小野ファミリー、岡西ファミリー、廣井ワイズ、飯尾ワイズ、榎木ファミリーそして私西村が参加しました。各レーン投げるたびに歓声が沸き“俺今ストライクや！そうか俺もストライクやで！”楽しい、楽しい一日でした。

心身に障がいのある子どもたちのための

# 第14回 京都YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2019 in かもがわ

2019年5月19日(sun)  
鴨川公園

参加者全員に！  
大会オリジナルグッズを  
プレゼント

出雲路橋西詰北側河川敷  
アクセス 地下鉄烏丸線 鞍馬口駅下車 徒歩5分

申込締切日 2019年4月15日(月)

- クォーターマラソン (10.5km)
- 小学生駅伝 (1.7km × 4人)
- ペアラン (850m × 2人)
- 一般駅伝 (1.7km × 4人)
- コスチュームラン (1.7km × 1チーム)